

(別 紙)

田川地区の県立高校再編整備計画〈第2次計画（骨子案）〉における
庄内中高一貫校（仮称）の設置に係る付帯意見

1 鶴岡南高校と鶴岡北高校の統合について

中高一貫教育校の設置については、田川地区の県立高校再編整備とともに検討が進められ、鶴岡南高校と鶴岡北高校の統合による新たな高校の開校とともに設置するという案が県教育委員会から提示されました。今年度開催された「鶴岡市内の県立高校再編整備に係る関係者懇談会」においては、対案も示されましたが、関係者への意見聴取や関係者懇談会での協議においては、県教育委員会の案に賛同する意見が多く出されました。

鶴岡南高校は、130年の歴史をもち、明治21年の創立以来、地域の中心校として国内外に多数の有為な人材を輩出してきました。文武両道の精神は今も受け継がれ、また、スーパーサイエンスハイスクールとしての成果もめざましい伝統校です。

鶴岡北高校は、120年の歴史をもち、東北で2番目の公立高等女学校として創立以来、地域の女子教育を担い、全国や世界を舞台に活躍する人材を輩出してきました。また、その伝統は現在も脈々と受け継がれ、体育や文化活動でも輝かしい活躍をする等地域に愛されてきた伝統校です。

この両校を統合するにあたっては、両校がこれまで果たしてきた実績や地域における役割を踏まえるとともに、両校の伝統が新たな形で継承されていくよう、同窓会等関係する団体の意見にも十分配慮して進めていただきたい。

2 統合とともに新設される併設型中高一貫教育校について

鶴岡南高校と鶴岡北高校の統合とともに新設される併設型中高一貫教育校の開校に向けて今後設置される整備委員会や準備委員会等においては、将来に向けて地域の課題となる若者の地元定着や地域経済の活性化などにもより一層の貢献ができる地域の基幹校となるよう、学校理念策定のための検討を進めていただきたい。その際は、地域の意見を反映させることができるよう配慮いただきたい。

3 既存校舎の活用について

県教育委員会案では、校舎分離型の中高一貫教育校とする計画となっております。開校に向けた既存校舎の整備にあたっては、不足教室の増設や既存教室改修等の限定的な整備にとどまらず、探究的な学習活動に有効なスペースやICT機器の充実等、生徒の多様な学びに対応できる施設・設備の工夫を取り入れるとともに、中高一貫教育校としての特徴が見えるよう措置をしていただきたい。

4 特色ある教育課程の編成について

中高一貫教育校の教育課程を編成するにあたっては、理数教育や外国語教育の充実、加えて本市並びに庄内地域における豊かな自然環境や歴史・伝統、次世代産業や学術機関等の教育資源を有効に活用し、郷土を愛し、地域の将来を担う人材を育成することができるようにしていただきたい。

5 懸念されることへの対応と先進校の検証継続について

中高一貫教育校の新たな設置については、賛同や期待を込めた意見だけでなく、受験競争の低年齢化に対する保護者の不安、県立中学校入学を希望する児童への心のケアが必要になるという小学校からの意見、中学校からは、新入学生徒の減少によって学級数の減少や教員数の減少になることへの不安、教員数確保に配慮をしてほしい等の意見をいただきました。

こうした意見も含め、今後も地域住民への適時、丁寧な説明をしていただくとともに、県立高校再編整備基本計画に定められた基本方針に基づいて、東桜学館の成果検証と他県における併設型中高一貫教育校の成果等の集積を今後も継続して進め、本市で要望している中高一貫校の設置に効果的に反映されるようにしていただきたい。